

HACCPを取得

しんわルネッサンス

社会福祉法人進和学園 援施設「しんわルネッサンス」(上吉沢)がこの



審査登録証(左)と関連の書類を手にする米山さん

ほど、国際的な衛生管理の手法「HACCP」の認証を取得した。

ハサップは、アポロ計画で宇宙食の安全性を確保するために考案された厳格な衛生管理手法。日本では食品製造事業者に対し、2021年6月から適用が義務化される。

作業者への定期的な衛生教育の実施が求められるなど、福祉施設が認証を取得することは簡単ではない。認証取得の中心メンバーである同施設の

米山健二さん(48)は「ほっとしています」と笑顔で語った。

人物風土記

○：県農業技術センターの力を借りながら、1千頁を超える独自の衛生管理マニュアルを作成。知的障害のある20人の利用者が働く製造現場では、自作の衛生管理チェックテストを皆に実施した。誤答箇所は何度も何度も根気よく解説するなど苦節3年あまり。その先に待っていたのが、HACCPの認証取得だ。障害者就労の現場が成し遂げた快挙に「うれいですね」。大きな達成感胸にしまい、静かに喜びを語る。

○：秦野市に生まれ、幼いころから運動が



● 障害者就労施設の職員として衛生管理手法HACCPの認証取得に尽力した

米山 健二さん

しんわルネッサンス勤務 48歳

より多様性のある社会にむけ尽力していく。

社会の多様性に尽力

大好きで小学生になると、少年野球を始めた。「打上位5人に入る」「章駄つ」「投げる」より適性天となり、これが胸中があったのが「走る」。の自信を育んでいった。市内のマラソン大会でも

活躍し、気が付けば学年有無ではなく、個性の差があるだけ。必要に応じて互いを支え合い、多様性を認める社会の在り方と共により、シユースやシャム作りに励む。

○：「人間には障害の間。大好きな授業の開始を体育館で待っている。知的障害のある児童が授業を受けに来た。○：「人間には障害の間。大好きな授業の開始を体育館で待っている。知的障害のある児童が授業を受けに来た。○：「人間には障害の間。大好きな授業の開始を体育館で待っている。知的障害のある児童が授業を受けに来た。」